

## 学部学生発表奨励賞 受賞作品発表と講評

今年度の学生ポスターセッションは、全体で7件の応募がありました。大学の数としては4大学からの応募をいただきました。意欲的に取り組んでいただいた学生の皆様、ご指導いただきました会員の先生方に厚く御礼申し上げます。また大会参加者の皆様におかれましては、多くの方にセッション会場におこしいただき、活発な質疑応答や議論を行っていただきました。実りあるセッションとなりましたことに感謝申し上げます。

応募いただいた研究に対しまして、昨日皆様方から総数87票の投票をいただきました。その結果、学部学生発表奨励賞として、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定いたしましたので発表させていただきます。

### 最優秀賞

発表タイトル 「アート活動を通じた地域のアイデンティティの再考ー北加賀屋における工場跡地の芸術・文化的利用がもたらす地域への影響」

和歌山大学観光学部

岩永沙緒理、嶋川久瑠実

(指導教員 吉田道代先生)

(得票数票26票)

### 優秀賞1点目

発表タイトル 「きものレンタル店運営による地域活性化への貢献」

西南女学院大学観光文化学科

恒成美玖、吉田汐里、小村若菜、吉田朱里、河島亜依、奥萌々子、猪俣百恵、川子奈々、早渕笑珠、福田佳奈

(指導教員 木沢誠名(まさな)先生)

### 優秀賞2点目

発表タイトル 「フォトツーリズムに対する若者と旅行業界の捉え方の差異に関する考察」

立命館大学文学部地域観光学専攻

久祢田紀久、杉林祐希、谷口由華、中野由莉子、中村美咲、仁木尚美、山下誠太、渡井沙稀

(指導教員 河原典史(かわはらのりふみ)先生)

最優秀賞の研究は、大阪市住之江区北加賀屋を事例に、地域再生におけるアートの役割に着目し、先行研究を踏まえたフィールドワーク調査を実施した意欲的な作品でした。多様な取り組みの実態を詳細に調査し、今後のまちづくりの課題を提示した点が評価されました。

次に優秀賞1点目の研究は、北九州門司港地区における大正着物のレンタル事業を学生が運営し、行政と連携して、継続的に観光振興に貢献している実践活動の報告でした。2011年から継続的に実施し、バーチャル会社設立などのプロジェクト型運営を導入するだけでなく、街歩きツアーやオリジナルキャラクター開発など、着物レンタルの枠を超えて活動を展開し、事業評価されている点が評価されました。

次に優秀賞2点目の研究は、フォトツーリズム研究では、従来はシニア層を対象としてきましたが、本作品では若者層のスマートフォン活用に注目しています。旅行業者と連携し、フォトロゲイニング、フォトサイクリング、フォトラリーなどの新たな形態を実践的に検証し観光提案しようとした点が評価されました。

それでは、そのほかの報告について簡単に紹介させていただきます。海外のフィールドワークに基づき仮説を立てて住民へのインタビューなどを精力的に実施し、観光行動から地域活性化につながる影響関係を解明した研究や、まさに今回の研究大会のテーマであるパフォーマンスとアフォーダンスの実証研究となりうる可能性を秘めた研究、社会システムという理論枠組みと研究手法から交通網の整備と観光行動の連関を解明しようとする研究、日本と海外の事例比較を通じて宗教とコミュニティの関係について新たな知見を目指す研究、など、非常に多彩なポスター報告でした。

学生ポスターセッションも、今回で5回目を迎えることになりました。言うまでもなく、研究を行う者にとって考えをまとめ、発表し、他者に意見を問うことは極めて重要であり、本学会のセッションが学生の皆さんに対してその機会となっていることは、非常に有意義であると思います。今回ご参加いただいた学生の皆さんが、セッションを通して大きな成果を獲得されたことを期待しております。また先生方に於かれましては、今後このセッションを充実したものにするためにも、更に積極的な応募を学生に促していただきますようお願い申し上げます。